



関宮学園

学校だより 34号
R7.3.21

校訓「敬・愛・信」

前期課程修了おめでとうございます



3月21日(金)に修了証書授与式を行い、6年生25名が、保護者、在校生、教職員に見守られ、修了証書を手にしました。

式辞の一部を紹介します。

飲料メーカーのCMで、「天才は存在しますか」との問いかけに、あるサッカー選手が「存在すると思います。でも、努力の天才には勝てないと思います。根を張っている者は強い。」と答えます。サッカーのワールドカップにキャプテンとして出場した選手も、大切なのは努力だと言っているのです。「継続は力なり」です。後期課程でも、夢や目標に向かって、努力する皆さんであり続けてください。

北海道北見市常呂町と言えば、カーリングというスポーツで有名な町です。カーリングによって過疎の町に活気が戻りました。この町にカーリングを根付かせた人物がいます。約四十年前、何も無いところから一人でカーリングを普及させようとしています。徐々に仲間が協力し始め、やがて、町からオリンピックの表彰台に立つ選手が現れるまでになります。オリンピック選手はインタビューで「この町だから夢が叶えられた」

と答えています。ふるさとを想うたった一人のチャレンジが町を変えたのです。

この人物は常々「大事なのは胸がキュンとすることだ」と話されていたそうです。胸がキュンとなる経験ができることは幸せなことです。皆さんも、これからの人生で、胸がときめくことに出会えるはずですよ。まずは、後期課程で、そのようなときめきを体験してください。前期課程と違った教科の学習、学校行事、生徒会活動、部活動など、新たなときめきを見つけてください。そのために、興味や関心を持つことを大切にしてください。

6年生を送る会

3月7日(金)に5年生中心に企画・運営し、下級生が趣向を凝らした出し物で6年生に感謝の気持ちを伝えました。手作りの気持ちのこもった会になりました。クライマックスは、くす玉割りとバトンパスです。6年生から5年生へ前期課程のリーダーバトンが託されました。こうして、脈々と学校の伝統が引き継がれています。



9年生の皆さんへ

3月19日(水)は後期課程ユウユウタイムでした。楽しい昼休みを過ごすことができました。皆さんが令和6年度に新たに作った伝統を後輩たちが引き継いでいます。

1年間ありがとうございました

3月24日(月)に1~5年生、7・8年生の令和6年度の修了式を行います。修了式では、令和6年度のはじめに子どもたちに話した3つのことを振り返ります。

- ①目標やめあてを持って、新たにチャレンジできましたか。
- ②お互いに友だちのチャレンジを応援できましたか。
- ③命は一つです。自分のこと、友だちのことを大切にできましたか。

保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動にご協力とご理解を賜り、感謝申し上げます。こうして、子どもたちを通してつながった家庭・地域との奇跡のご縁に感謝したいと思います。

令和7年度1学期始業式は4月7日(月)です。新学期を迎えるにあたりご心配なことがありましたら、学校(Tel667-2759)までご相談ください。

関宮学園 HP <http://yabuboard.ed.jp/sekinomiyagakuen/>

